



子供の教育と自然物

竹島 茂郎

今此の場に於て門外漢なる私が改めて幼稚園の先生方に申上る程の事は何も無い、只私は日頃子供と自然との関係の深い事を感じて居りますので、この感を進めて見たいと思つて、現在その研究をやりつゝあるので、今年もたゞ少しはま

とまつた事が申上られようと思ふから、此の度は唯其の豫備とでも思召して御耳に止め置かれて、此の先更に申上る機會のあつた時の御批評のたねにでもして下さるならば結構であります、最も私の今日の仕事は全く幼稚園に關係なしと申すことは出来ない、否幼稚園は普通教育の基礎をなしつゝあるものであるから、普通教育を完全ならしめんが爲にはどうしても幼稚園から發達せしめてもらはんければならぬので、特に御研究の仲間入を御願ひ申したのであります。

幼児につきての私の觀察は甚だ少く従て之に對する意見としては殆んどないのであります、併し博物を専門として居ります傍ら自然と教育との關係を研究し、自然は人の手の最も加はらぬ事教育はこれと全く反對のことで、この兩者の關係を

研究することは甚だ面白い、倍も自然は是迄多少
 教育上價值ある材料として用ひられて居るが、併
 し其の價値の如何は博物の人の見る處と然らざる
 人の見る處と自ら多少の差あるべき筈であるか
 ら、余が云ふ處或は我田引水と聞き給ふ御方もあ
 らんことを恐れて最も公明正大なる事例を引き出
 さうと思ふ。

抑々此の人間……今日の如く文明に進み將に神の
 モデルであるかの如く考へらるゝこの人間は、大
 昔から斯の如くであつたか但しは最初非常には
 れなものであつたかと云ふに、有史以來今日に至
 る三千年永からざるにあらざれど、これを人類の
 此の世に現はれたる當初の年月に比せば、人一代
 に於ける一日にも足らぬ此の三千年間に可なり
 進歩をなして居るのを認むることは出来るから、

原始時代の人間は如何にわはれであつたかと云ふ
 ことを想像することは出来ると共に、これを未來
 に推せば人間が更に如何なる程度まで發達をなす
 か測り知ることは出来ぬ位である、然らばこの非
 常なる發達は何によりて出来たものであるか、太
 古から不完全ながらも今日の如き學校があつたの
 であるか、あらず、我々は斯の如き人為的の偏
 狭な教育を受けたのではない、即ちこれ以外に非
 常に大きな教育を受けて發達したのである、自然
 と云ふ大學校に於て教育されたのである、更に切
 言すれば自然が人類と云ふ大なる連續的の生命を
 教化して今日に至らしめたのである、故に我々教
 育を職とするものは宜しく斯道の成効者たる自然
 に學ばなければならぬのである、依てまづ研究の
 問題が二つに分れる、即ち一、自然が如何なる目的

を以て如何様に人類を教育し來つたのであるか、
 二、人類以外にも生命を有する物數多きにかゝは
 らず獨り人類のみ斯の教育の恩典に預ることを得
 たるはなぜであるか、換言すれば自然が如何なる
 性情に於てはめて其の教育を施したのであるかの
 二問題である、そうして此の第一の問題は今日の
 博物教科研究の根柢をなすもので第二の問題は兒
 童心理の研究に好題目を與ふるものであろう。
 個人の發達は全人類の發展の跡を簡單に繰り返す
 ものであると云ふことは教育上の格言であるが、
 生理學者の方からはもつと大きく個体の發達は其
 の個体の屬する種族の發展の跡を簡單に繰り返す
 ものであると云ふことが出来る、即ち我々の如き
 高等動物も、其のもとは實に最も下等なる動物と
 して認められて居る、單細胞時代からだん／＼進

んで色々の階段を経て遂に人間の形になるのであ
 る、そうして其の繰り返す道順の長さ丈それ丈教
 育の功果を受ける性質に畜かるものと云ふことが
 出来るのである。
 借彼の幼兒は犬や馬に向つて特殊の興味を有する
 ことは皆さんの能く御承知のこと、思ふが、未だ
 碌々歩むことすら出來ぬ子供が大人もともすれば
 恐ろしく感ずる馬を見てしかも之に乗らんことを
 望むは之も如何なる事か、同じ家畜でありながら
 牛に向ては一向さるけはいなきは如何と問ふに、
 之は實に彼の我々原人は其の初め野獸の類と雜居
 して居た頃、諸獸の中で最も愛らしく最も滑稽に
 見へ從つて子供に如く快瀾に好奇心に富み且無邪氣
 なる原人は初め面白半分に捕へ來りて馴したるも
 のは恐ろしくが今の犬や馬の祖先で、牛の如きは角

を有し相恰また甚だ宜しからざれば遙か後世になつて漸く經濟問題の伴ふにつれ其の力を用ふることの利益多きを知るに至りて之を養ふに至りたる事實を證明するものと解釋せらるゝのである、實に自然は善惡兩方に於て數限りなく多くの材料を用意し、進まんものは進めそむくものは強はずと云ふ態度にて夫々の生物に對して居るので、此の際獨り子供の如く愛らしく子供の如く無邪氣なる性質の原人のみが能く此の自然の手にすがりて其の教育に身をまかせしめて其の材料によりて發達したものである、即ち自然が取て善のみを進むることをなさず惡のみを強て排斥せず甚だ鷹揚なる方法によりて之を育てたので。人間は生物中の大僧正の如く多くの動植物を歸依せしめ或は己が家畜とし或は己が作物として之を利用すると共に、色

々の苦心からして自然に腦の組織を緻密にして以て今日の如き高尚なる教育をも受くるに適應する様に至らしめたのである、即ち切言すれば自然物は神が人間を教育する唯一の教材である、故に幼稚園を設けて原人にも等しき子供を發達せしめて行かんとするにはどうしても此の神の教材を取らなければならぬ即ち自然を紹介せなければならぬのである。

そうして此の目的を以て園圃に栽培すべきものを舉ぐれば先次の如きものか、但し之は曾て學校園に栽培し兼て理科の實驗用に供せんとしてしらす、たもので特に幼稚園につきてしたるにはあらず、御寛恕を乞ふ。

- 一、すみせん 水仙 二、しらん 白及
- 三、すみれ 莖菜 四、けし 罌子粟

- 五、しやくやく 芍薬 六、ゆり 百合
 - 七、えぞぎく 翠菊 八、ひやくにちさう
 - 九、まつばぼたん 一〇、ほうせんくわ鳳仙
 - 一一、さくよう 桔梗 一二、あやめ
 - 一三、けいとう 鶏冠
 - 一四、せんにちこう千日紅
 - 一五、のうぜんはれん金蓮花
 - 一六、くさけうちくとう
 - 一七、こうわうさう紅黃草
 - 一八、ロベリヤ 一九、さく 菊
 - 二〇、あざがは牽牛花 二一、さくらさう櫻草
 - 二二、ほたるぶくろ 二三、うまのすいくさ
 - 二四、イペリス 二五、りんどう 龍膽
- 實用的のもの
 麥、燕麥、莢豆、さとうり、除虫菊、藥用さぶら

ん、はぶさう、からんだいちご、ほーづき、ゆ
 すらむめ、ぶどう、じゃがたらいも、なんさん
 まめ、わた、
 下等植物

つくし、すぎごけ、ぜにごけ
 大きな水瓶を備へて

金魚、みぢんこ、ひどら等を飼養す、

實驗上の育兒 (ついで)

醫學博士 瀨川昌者君述

臍緒と臍突

▲臍帶の處置 臍帶は一寸五分ばかり残して切
 るものであるが、之れを取扱ふことは最も大切で
 念に念を入れなければならぬ、此の臍帶は無菌ガ
 ーゼカサルチルサンに浸した綿か左もなければホ